

## 尾張旭市誌編さん委員会 会議録

- 1 開催日時  
平成 21 年 2 月 23 日 (月)  
開会 午後 1 時 30 分  
閉会 午後 2 時 30 分
- 2 開催場所  
尾張旭市勤労青少年ホーム 会議室 2
- 3 出席委員  
塩澤君夫、稲浪智士、荻須勝博、荻谷 勝、寺尾結子、兒嶋直也、  
坂野郁夫 7 名
- 4 欠席委員  
なし
- 5 傍聴者数  
0 名
- 6 出席した事務局職員  
教育長 和田浩志、教育部長 寺尾高志、文化スポーツ課長 杉森延明、文化  
スポーツ課長補佐兼文化振興係長 松原式信、文化振興係主査 坂田みどり、  
市誌専門員 柴田鐘三
- 7 議題等  
(1) 尾張旭市誌編さん事業の実施状況について  
(2) 尾張旭市誌編さん事業の実施計画について
- 8 会議の要旨

松原課長補佐

本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。ご案内の時間になりましたが、坂野先生が若干遅れておみえになるようでございます。現時点で 6 名のご出席をいただいております。尾張旭市誌編さん委員会条例第 6 条の 2 による定足数に達しておりますので、ただいまより尾張旭市誌編さん委員会を始めさせていただきます。なお、本日の会議は、会議公開制度に基づき公開とさせていただきますのでご了承ください。また、議事要旨についても公開してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、兒嶋委員長よろしく申し上げます。

<p>兒嶋委員長</p>	<p>(あいさつ)          本地ヶ原小学校の兒嶋と申します。議事を進めさせていただきますので、宜しくお願い致します。          それでは、最初に和田教育長より挨拶をいただきます。</p>
<p>和田教育長</p>	<p>(あいさつ)</p>
<p>兒嶋委員長</p>	<p>ありがとうございました。          それでは、2の議事に入りまして、次第2の尾張旭市誌編さん事業の実施状況について、事務局にご説明お願い致します。</p>
<p>坂田主査</p>	<p>それでは資料の3ページをご覧ください。市誌を執筆していただきます編集員の名簿でございます。昨年の委員会でもご報告申し上げましたが、平成19年7月に編集員的小林賢治先生がご逝去されまして、執筆分担等の見直しが行なわれました。小林先生が担当されていた部分を黒田先生に担当していただくことになり、黒田先生の担当分野を執筆協力者の松木先生に担当していただくことになっております。これに伴いまして、専門協力者として黒田先生の研究室の大学院生である木田勇輔さんに資料収集整理等お手伝いいただくことになりました。          つづきまして、4ページをご覧ください。平成14年から市誌編さんの準備を始め、本年度で7年目を迎えます。各年度の事業経過を掲載しております。8ページをご覧ください。平成20年度の事業です。今年度編集会議は3月に予定されている2回を含めて、計12回の開催いたします。編集会議の内容ですが、事務局よりも編集会議の座長を務めて頂いております稲浪先生の方から会議の様子などをお話頂きたいと思っておりますのでお願いいたします。</p>
<p>稲浪委員</p>	<p>今の時点で市誌をどのように書いていこうということは、資料についております「市誌の構成案」をご覧ください。第一章の部分が亡くなられた小林さんが書かれるところだったので、その分を黒田先生に書いていただき、黒田先生</p>

が担当されていた部分を松木さんが担当されることになりました。ここが一番大変なところかなと思います。

ここ 1 年の編集会議では、集めてきた資料を使って、それぞれの先生方が、今までに解ったことのなかで何を中心に書いていくかという話をしています。最近の 1 月の編集会議では、教育の方を担当されている戸松先生に第一次草稿を発表して頂いて、それに全員で検討を加えました。これからはそれぞれの先生が、原稿そのものか、要点を絞った原稿の形を整えてくるのではないかと思います。私の方の分野からいいますと、今度 4 月に全戸配布されます「市誌だより第 5 号」に、市誌の第二章にあたります「財政」の市制以前、特に戦後から市が発足する前までの町制期について書かせていただきました。市誌原稿の柱の一部になるかと思しますので、皆さんにお読みいただいてご意見をお聞かせ願えたらと思います。大体そんなところで、原稿化を少しずつ進めています。

坂田主査

稲浪先生、ありがとうございました。

3 月以降の予定ですが、3 月 15 日（日）午後 1 時 30 分より市誌編さん中間報告会がごございます。市民のみなさんに向けた中間報告会で、今回は稲浪先生に「財政からみた高度成長期の尾張旭」と題してお話いただきます。お時間のあります方は、ぜひご参加ください。また「市誌だより第 5 号」を 4 月 1 日号広報と同時に全戸配布いたします。

つづきまして、市誌の構成案等について、市誌専門員の柴田よりご説明させていただきます。

柴田市誌専門員

別紙の「尾張旭市誌構成案」をご覧ください。（概要下記）

**序章 尾張旭の概観 （稲浪）**

第一節 尾張旭の歴史

第二節 敗戦からの復興

第三節 高度経済成長へ

**第一章 市制施行と市行政の展開 （黒田）**

第一節 住宅都市を目指して（都市計画／土地区画整理）

第二節 市制施行（経緯）

第三節 緑豊かな健康都市造り

第四節 選挙／議会

**第二章 市財政と市民サービス (稲浪)**

第一節 市制以前の財政

第二節 一般会計 歳入

市民所得と市税 (個人市民税／法人／固定資産税)

第三節 一般会計 歳出

市民サービスの拡充

第四節 特別会計 (国保／土地取得／污水处理／墓園／下水道／老保／介護保／水道)

**第三章 農業 (稲浪)**

第一節 農地改革／愛知用水通水

第二節 本地ヶ原の農業

第三節 農業の衰退／近郊農業

**第四章 商工業 (笠井)**

第一節 工業

第二節 建設業／交通／運輸

第三節 商業／サービス業

**第五章 地域と住民組織 (松木)**

第一節 人口と移動

第二節 住民組織と地域

**第六章 市民生活と健康 (松木)**

第一節 市民生活年表

第二節 安全と快適性 (防犯／防火／交通安全／衛生／環境)

**第七章 教育**

第一節 幼児の保育と教育 (戸松)

保育園・幼稚園の設立 保育と教育の内容

第二節 義務教育 (斎場)

教育行政／学校教育／教育の充実

第三節 高等学校・大学 (戸松)

高等学校の設立 (愛知県立旭野高等学校)

大学の設立と変遷 (名古屋市立保育短大／名古屋経営短期大学／名古屋産業大学)

その他の学校 (愛知県消防学校)

第四節 生涯学習 (吉田)

生涯学習／公民館／体育

**第八章 文化とその継承 (松木)**

第一節 年表（文化年表）  
 第二節 祭礼  
 第三節 組織（氏子／檀家）  
 第四節 継承される文化  
 構成案につきましては、以上です。

もう 1 つ執筆の先生方に原稿を書いていただくための「尾張旭市誌執筆要領」というものを作りました。委員のみならず、以前よりわかりやすい本を作ってほしいというご要望がありました。なるべく読みやすくということで、例えば、現代（昭和 45 年以降）ですので、西暦が優先して記述されますが、括弧書きで和暦を入れるというような約束事を決めています。これに沿って原稿を進めておりますので、不都合なところ、こういう記述の方が判りやすいなどご意見などありましたら、教えていただければと思います。

以上がこの 20 年度のうちに、執筆の先生方をお願いしている事項の報告でございます。有難う御座いました。

坂田主査	事務局からの説明は、以上になりますのでよろしくお願い致します。
兒嶋委員長	では、ただ今の事務局の説明について質問等ありましたら、お願い致します。
荏谷委員	今、説明にありました構成案につきまして、第二章の第三節一般会計 歳出の部分に、市民サービスの拡充とありますが、市民の交通利便性のために走らせた公共交通「市バス（アサピー号）」については、ここで記述されるのでしょうか。
稲浪委員	第四章 商工業の第二章に交通がありますのでここか、第六章 市民生活の安全と快適性のところで交通安全だとか、そのあたりで記述することになるかと思えます。私の執筆分担である第二章 市財政と市民サービスで書く場合には、市財政の歳出金額などから市政の状況を追うことになるの

	<p>で、公共交通のために支出がなされるようになったとか、そのような形では記述できると思うのですが、公共交通がどう始まったとかというのは、ちょっと違うところでふれられると思います。</p>
荻谷委員	<p>第五章に載せて頂いてもいいのですが、市民サービスの観点から始まった公共交通ですから、経緯などを掲載して欲しいと思います。</p>
兒嶋委員長	<p>他にありましたら。 私のからご質問します。去年の会議の時に、第四章の節立てについて第四章の第二節の交通・運輸。それから第三節のサービス業というのは、同じものではないかと感じるのですが。私としては第一節に工業・建設業と入って、サービスが別かなというような気がしますが、そのあたりはいかがでしょうか？</p>
稲浪委員	<p>たぶん昨年と同じようにお応えするようになると思いますが、この構成案は編集会議で私から構成の大枠を編集員の方々に提案し、それに各執筆者が検討を加え修正したものです。第四章については私の提案した大枠そのままなのですが、今後この分野の担当者である笠井さんが、また構成を変えられると思います。具体的に笠井さんから修正案が出されておられませんので、またこういう形で提出しております。申し訳ないのですが。</p>
兒嶋委員長	<p>はい、失礼いたしました。他にありませんでしょうか。 では、3の尾張旭市誌編さん事業の実施計画についてという事で、事務局の方宜しくお願いします。</p>
坂田主査	<p>はい。次第 12 ページ尾張旭市誌編さん事業の実施計画についての説明いたします。 平成 21 度の予定でございます。(概要説明) (1) 市誌中間報告会の開催 (2) 市誌だよりの発行 (3) 編集会議開催と執筆の開始</p>

	<p>(4) 資料や情報の収集・整理</p> <p>平成 22 年に市誌を発刊したいと考えておりますので、21 年度中の原稿完成を目指します。また、市誌だよりは市誌発刊前、最後の市誌だよりになりますので、内容の概要とともに購入方法なども掲載していく予定です。</p>
児嶋委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問・ご意見ございましたら、お願いします。よろしいですか？</p> <p>それでは、4 のその他について事務局の方で何か御座いましたら、お願いします。</p>
松原課長補佐	<p>先ほども説明をさせて頂きましたが、これから原稿が上がってまいります。その関係で大変先の話になるので申し訳ございませんが、来年度の委員会の開催は、秋頃に一度お願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>また、3 月 15 日(日)午後 1 時 30 分から、中央公民館 1 階第 2 研修室で、市誌中間報告会を行いますので、是非とも皆さんお誘いあわせの上、ご参加ください。本日ご出席の市誌監修者の塩澤先生と稲浪編集員に、講師・講演をお願いしておりますので是非お願いしたいと思います。以上でございます。</p>
児嶋委員長	<p>その他について 2 件ございました。他にはよろしいですか？それでは、本日の議事を終りたいと思いますが、最後に文化スポーツ課長さんに挨拶をお願いいたします。</p>
杉森課長	<p>皆様方には、いつもお世話になり本当に感謝しております。21 年度ですが、市誌も佳境に入ってきますので、また皆様のご指導とご鞭撻のほどをお願い致しまして、本日の挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。</p>
児嶋委員長	<p>ありがとうございました。以上で、尾張旭市誌編さん委員会を閉会致します。皆さんありがとうございました。</p>